

經濟水道委員會

說明資料

平成30年3月14日
觀光文化交流局

目 次

	頁
1 人生大出世街道推進事業	1
2 国際展示場の運営手法に係る調査の内容	2
3 今後の展示場のあり方検討の内容	2
4 文化施設のあり方検討の内容	2
5 金シャチ横丁第二期整備計画の策定	3
6 平成28年度名古屋城入場者数の割合	4
7 平成83年度名古屋城入場者数見込み（高位）の算出根拠	5
8 入場者一人あたりの敷地面積	6
9 名古屋城天守閣の整備に係る基本設計等	7
10 名古屋城天守閣の整備に係る実施設計	8

1 人生大出世街道推進事業

(単位：千円)

区 分	内 容	金 額
豊臣秀吉、前田利家、福島正則など武将にゆかりのある中村区、中川区、あま市をつなぎ、新たな観光資源として、市内外に向けて発信	旅行雑誌への情報掲載、リーフレット作成等	6,700
	シンポジウム、歴史まち歩きイベント	4,800
名古屋駅から中村公園をつなぐ武将観光ロードを整備し、「武将のふるさと中村」の魅力を発信	武将モニュメントの設置	38,000
	解説動画、ウェブサイトの制作等	8,800
	武将案内板、武将パネルの設置	3,200
計		61,500

2 国際展示場の運営手法に係る調査の内容

- ・ M I C E施設運営事業者等へのヒアリング
- ・ 新第1展示館整備後の新たな運営体制のあり方の整理

3 今後の展示場のあり方検討の内容

区 分	内 容
有識者懇談会の実施	<ul style="list-style-type: none">・ 本市の大規模展示場整備の検討経過の総括・ 当地域の展示場を取り巻く現状及び課題の整理・ 現状及び課題等を踏まえた今後の展示場の中長期的な必要性、整備時期等の検討、整理
整備方針案の作成	<ul style="list-style-type: none">・ 有識者懇談会等の意見を踏まえた今後の整備方針案の作成

4 文化施設のあり方検討の内容

- ・ 本市の文化施設の現状分析
- ・ 当地域の文化施設が抱える課題等の整理
- ・ 市民会館をはじめとする文化施設の整備にかかる今後の方向性を検討

5 金シャチ横丁第二期整備計画の策定

(1) 趣旨

平成30年3月に開業する金シャチ横丁第一期整備事業に続き、名古屋の文化を体感することができる施設の整備計画を策定する

(2) 内容

- ・名古屋城の金シャチや収蔵品、山車などを展示・活用することで、名古屋の本物の歴史が感じられる展示施設の調査をする
- ・芸処として栄えた尾張名古屋の伝統芸能や催しを鑑賞できる多目的施設の調査をする
- ・事業採算性や市民ニーズ等の調査を行い、施設整備計画を策定する

6 平成28年度名古屋城入場者数の割合

区 分	入場者数	割 合
市 内	21万人	10.9%
市 外	14万人	7.3%
県 外	123万人	64.1%
国 外	34万人	17.7%
計	192万人	100.0%

7 平成83年度名古屋城入場者数見込み（高位）の算出根拠

(1) 内訳

区 分	入場者数	割 合
市 内	27万人	7.8%
市 外	46万人	13.3%
国 内 (市内・市外を除く)	185万人	53.5%
国 外	88万人	25.4%
合 計	346万人	100.0%

注 市外については名古屋城から2時間圏内の市町村

(2) 天守閣木造復元竣工後の主な増減要因

区 分	内 容
増加要因	<ul style="list-style-type: none"> ・訪日外国人の増（中部国際空港新ターミナルの開業、インバウンドによる増） ・国内交流人口の増（リニア中央新幹線の名古屋開業、リニア中央新幹線の全線開業） ・名古屋城内で魅力的なイベントを実施することによる増
減少要因	<ul style="list-style-type: none"> ・天守閣木造復元のブームの終了による減 ・人口減少

8 入場者一人あたりの敷地面積

区 分	敷地面積	一日あたりの 最大入場者数	最大入場者数 記録日の 開園時間	一人あたりの 敷地面積
名古屋城 (平成 28 年度実績)	183,663 m ²	35,273 人	10 時間 30 分	54.7 m ²
名古屋城 (1 日 2 万人)	183,663 m ²	20,000 人	7 時間 30 分	68.9 m ²
名古屋城 (1 日 7 万人)	183,663 m ²	70,000 人	7 時間 30 分	19.7 m ²
東山 動植物園 (平成 28 年度実績)	595,800 m ²	35,525 人	7 時間 30 分	125.8 m ²

注 1 一人あたりの敷地面積 = 敷地面積 / (一日あたりの最大入場者数 / 最大入場者数記録日の開園時間)

2 名古屋城の敷地面積は外堀を除く

9 名古屋城天守閣の整備に係る基本設計等

(単位：千円)

区 分		金 額
本体設計業務		482,509
その他設計業務	仮収蔵庫	23,143
	素屋根	58,631
	その他仮設	50,959
調査業務		231,994
計		847,236

10 名古屋城天守閣の整備に係る実施設計

(単位：千円)

区 分	内 容	金 額
設計業務	<ul style="list-style-type: none"> ・設計図作成 (建築、設備、外構、石垣) ・構造解析 ・各種実証実験 ・現状変更許可書類作成 ・建築基準法第3条適用書類作成 ・消防法その他関係法令手続き書類作成 ・積算業務 ・施工技術検討業務 	<p style="text-align: right;">688,000 (524,000)</p>
調査業務	<ul style="list-style-type: none"> ・史実調査 ・現天守閣記憶伝承調査 ・地盤調査 ・石垣モニタリング・調査 ・有害物質調査 	<p style="text-align: right;">172,000 (180,000)</p>
計		<p style="text-align: right;">860,000 (704,000)</p>

注 () 書きは平成31～32年度の債務負担行為